

飼育員 日誌

長野・須坂市動物園



スザッチ

たまにお客さまに「トラの世話はどうやってやるのですか?」と聞かれます。担当者が女性だと知るときらに大変そうに思われたりもします。

ベンガルトラは、ヒトよりも大きな肉食動物なので、毎日会っている飼育員だとしても同室に入ることはありません。もちろんトラを持ち上げることもないので力不足の私でも大丈夫なのです。必ず他の場所にはトラを移動させて安全を確

認してから、空いた場所の清掃などを行います。

毎朝、開園に合わせて寝室から展示場へトラを移動させます。トラが通る扉を直接開けることはできないので、ワイヤでつながれた扉を滑車を利用して開閉させます。毎日のことなのでトラも覚えており迷いもせずに出てきてくれます。たまに調子が合わずなかなか出てこないこともあります。が…。

トラが出かけているうちに寝室内の清掃をし、夕方戻ってくる直前に餌の配置をします。出かけた後の様子をトラは見えていないので戻ってきたときにどう思っているか気になりますが、おおよそ餌に一直線で特に気にも留めていないようでありラックスできていれば幸いです。

(トラ担当 笹井恵)

トラ担当、 女性でも大丈夫



須坂市動物園で飼育している
ベンガルトラ (同園提供)